



11月4日(火) 釜山港湾 釜山港と日本の港湾の労働組合と釜山港の経営者の代表(35名)が来日し、懇談会が開催され全国港湾四役で対応した。

懇談会では、釜山港側から事前に送ってきた質問に対し、全国港湾側が答える形での対応となつた。

釜山港と日本の港湾の労働組合としての運

# 釜山港湾労組懇談会

懇談会の最後には、竹内中央執行委員長が「引き続き釜山港と日本の港湾の友好と団結の力を強固なものにしていきたい」と挨拶し、懇談会は成功裏に閉会した。

リレー随筆  
「マルサの女」の父の教訓

教宣部の石渡です。今年は戦後80年という節目の年であることから、最近読んだ『戦争責任者の問題』というエッセイを紹介したいと思います。

この書物を書いた人物は伊丹万作氏。その伊丹万作氏が終戦直後の昭和21年に映画雑誌「映画春秋」に寄稿したのが、この「戦争責任者の問題」というエッセイです。

伊丹万作氏のエッセイでは「自分は戦争の犠牲者であり、悪いのは全て政治家と軍部である」と主張する

日本国民に対して、その政治家と軍部を支持し、やりたい放題にさせたのは、日本国民自身ではないかとい



## 「港湾を兵站基地にするな！」 25秋闘中央行動と野党各党との政策懇談を取り組む！

11月5～6日にかけ25秋闘中央行動を実施しました。また、本中央行動実施の際には、多くの各地域の仲間による参加のなかで、「港湾を兵站基地にするな！」の基、出席する各野党の議員先生方に「野党として一致団結し、戦争をしない・させない取り組み」を改めて強く訴えました。

さて、本中央行動二日目の6日前中に日比谷集会(於・日比谷図書文化館地下1階コンベンションホール)を開催しました。特に集会後半で野党各党との政策懇談を行い多数の各野党の議員先生方にご出席を賜りました。

これに対して各議員先生の方も、登壇挨拶のなかで「そのとおりだ！」とした旨の決意表明を述べていただき

ました。本当にありがとうございます。

このなかで、25秋闘中央行動での一方のスローガンである「憲法と民主主義の擁護・港湾を兵站基地にするな！」の基、出席する各

野党の議員先生方に「野党として一致団結し、戦争をしない・させない取り組み」

を改めて強く訴えました。

そして、全国港湾としても当然ながら団結し取り組みを進めていくとの決意を表

明しました。

しかし、我々全国港湾は「憲法と民主主義の擁護・

港湾を兵站基地にするな！」

の行動で「戦争反対！」の理念のもと、こういった間違つた政策、国家的犯罪ともい

うと同時に、全国の仲間の皆様の力と知恵を結集し更に行動をはじめとした地道な取り組みを日夜恒常的に行

いました。

そこで、全国港湾としての決意表明を述べていただき

ました。本当にありがとうございます。

このなかで、25秋闘中央行動での一方のスローガンである「憲法と民主主義の擁護・

港湾を兵站基地にするな！」

の行動で「戦争反対！」の理念のもと、こういった間違つた政策、国家的犯罪ともい

うと同時に、全国の仲間の皆様の力と知恵を結集し更に行動をはじめとした地道な取り組みを日夜恒常的に行

いました。

そこで、全国港湾としての決意表明を述べていただき